



みんなそろって記念撮影



実際に砂防堰堤を見ながら学習



国土交通省では6月を『土砂災害防止月間』と定めていて、その啓蒙活動の一環として6月20日に大鹿小学校3年生を対象とした小渋川砂防工事現場見学会を実施しました。

## 小渋川砂防ステーションで砂防の学習をしました



砂防ステーションで担当者から説明を受け、ビデオ映像と模型を使って砂防についての学習をしました。

## 女高砂防堰堤でドローンの操作体験をしました



工事現場で使用するドローンを持ってみたい、実際に操作体験を行いました。

## 工事現場の重機乗車体験をしました



砂防工事現場の大きな重機、小さな重機の操縦席に座り乗車体験をしました。子供達は少し緊張しながらも楽しそうでした。

## 魚の放流をしました



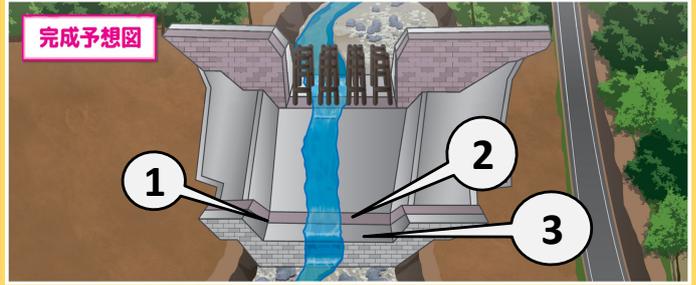
魚(あまご)の放流体験をしました。魚は元気よく鹿塩川を泳いでいきました。

※大河原砂防工事安全協議会(大協建設、吉野組、勝間田建設、ヤマウラ、福美建設)が見学会のお手伝いをさせていただきました。

# 令和4年度 天竜川水系矢立木砂防堰堤補強工事現場紹介

## 工事内容

令和4年度 天竜川水系矢立木砂防堰堤補強工事の施工をしております、駒ヶ根市の福美建設株式会社です。大鹿村指定天然記念物『矢立木』から1キロほど下がったところに位置する鹿塩川の矢立木砂防堰堤の補強工事を行っています。安全に留意し進めてまいりますので、地元の皆様、何卒よろしくお願いたします。



1

昔(約27年前)に施工した木材の型枠(修景材)を取り外します。



【木材型枠(修景材)】

2

ワイヤーソーで切断し、現在水の流れている高さから2.5m下げます。



【ワイヤーを回しながら引っ張ってコンクリートを切ります】

3

副堰堤の下流側をコンクリートで補強します。



【コンクリート打設状況】

## 3次元データ作成



矢立木砂防堰堤補強工事では、大鹿小学校砂防現場見学会でも紹介したドローンにより撮影した写真と測量をして得た座標から3次元データの作成を行いました。3次元データを使用することで土量計算や縦断図、横断図の作成が簡単にできるようになります。

## 6月 現場進捗状況

令和5年6月末 下流側より撮影



令和5年6月末 上流側より撮影



7月の予定として、本堰堤右岸側のコンクリート打設、副堰堤のワイヤーソー切断、構造物撤去作業へと進んでいきます。引き続き地元の皆様のご理解とご協力をお願いします。